

2021.10.13 朝日新聞 朝刊 に
駒場苑施設長 坂野悠己 の記事が掲載されました！！

朝日新聞デジタル > 連載 > ひと > 記事

(ひと) 坂野悠己さん 「七つのゼロ介護」を掲げる特養施設長

🔒 会員記事

2021年10月13日 5時00分



坂野悠己さん



おむつは着けたまま。ベッドに寝かせきり。風呂は機械浴。そんな介護ケアをしていた東京都内の特別養護老人ホームで改革に乗り出し、現在は施設長に就任して2年が経つ。誤嚥（ごえん）性肺炎、脱水、身体拘束、下剤も加えた7点の旧弊をなくす「七つのゼロ」を掲げ、セミナーで実践法を伝える。取り組みは全国に広がっている。

初めて介護を経験したのは大学3年のアルバイトだった。そこで目の当たりにした光景に憤った。入所者全員のおむつを定時に交換し、トイレに行かせない。事故防止を名目に身体拘束も。上司に改善を直談判し、解雇された。

その悔しさから、大学卒業後に介護施設に就職し、介護福祉士となった。理想のケアを模索していたとき、「オムツ外し学会」を立ち上げた理学療法士の三好春樹さんとの出会い、自分の考えに間違いはないと確信した。

11年前に引き抜かれて現在の職場に就いた。ベテラン職員からは「仕事が増えかねない」と猛反発を食らったが、入所者との関わりがその人らしさを取り戻すきっかけになり、かえって負担は軽くなった。「成功体験を重ねていくしかないと思った」と振り返る。

取り組みは高校の「家庭総合」の教科書でも紹介された。「コロナ禍で施設自体も閉鎖的になったからこそ、最期までその人らしくいられるよう生活を支えたい」

(文・上田学 写真・本人提供)

*

さかのゆうき (40歳)